

令和6年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

「探究活動の充実」

今年度、理数科設置3年目、新学習指導要領により全学年実施を迎えることを機に、SSHを中核に取り組んできた北斗高校らしい探究活動の一層の充実を目指す。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
主体的な学び	SSH事業を含めた探究活動を充実、観点別評価と授業の一体化については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。
改善方策	新課程入試が始まり、より低学年からの進路指導や学力の向上が重要となってくる。日常の授業や進路指導はもちろん、効果的なタイミングでの進路講話やガイダンスの実施に努める。また、生徒が「主体的に学び続けることができる」授業改善に引き続き努める。また、観点別評価への理解はある程度浸透してきているが、評価を生徒自らの学習改善に還元できるようなサイクルの確立を図っていく。	
対話的な学び	ICTの活用、コミュニケーション能力の育成等については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。
改善方策	それぞれの教員の工夫により、ICTを活用した授業は確実に増加している。今後はより効果的な授業ができるようプロジェクターの増設等環境整備に努める。また、管内でも高校生のSNS等でのトラブルや自転車事故が増加傾向にあるので、ルールやマナー等について、あらゆる機会を捉えて注意喚起を図っていく。	
深い学び	個別最適な指導や探究活動については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。
改善方策	今年度の学校経営の重点事項が「探究活動の充実」であったこともあり、SSHや探究活動において対話的な学びや深い学びに繋がる充実した取組がなされた。今後も学校全体でSSHや探究活動に取り組む体制の確立に努める。	
校内組織	働き方改革や業務の改善については、一層の努力が必要である。その他については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。働き方改革については、今後の推移を見守りたい。
改善方策	働き方改革に繋がる業務の削減等をより積極的に精査・整理できるよう、部長主任会議や衛生委員会を効果的に動かし、教職員の過重労働時間の削減を図っていく。特に次年度は衛生委員会を効果的に機能するよう努める。また、いじめの個々の事例についていじめ防止対策委員会や特別支援教育委員会等を通して組織的な対応に努める。	
教職員	法令遵守、服務規律の保持や教職員の資質能力を高める研修等については、取組の適切さともに、概ね目標を達成することができた。	自己評価の適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。
改善方策	教職員の業務が「個業」になり一人で抱え込まないよう、「組織的」に業務に当たるような体制作りに努める。また、道教委発表の懲戒処分等の事例等の周知等を通して、不祥事を他人事と捉えず、緊張感を持って職務に当たるよう研修に努める。	
地域連携	保護者、地域、関係機関と連携・協力を図りながら、全教職員の共通理解の下で教育活動を行うよう心がけた。	自己評価の適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。改善に向けた適切さについては、概ね適切との評価をいただいた。
改善方策	「地域から信頼される学校づくり」につとめ、積極的な情報発信を図っていく。強行遠足や学校祭等多くの方にご協力いただいた。今後とも良好な関係づくりに努めていく。 SSHや探究活動を中心に、充実した連携が行われた。今後とも大学や地域と効果的な連携を図っていく。	
公表方法	学校公式ウェブサイトへの掲載	